



2022.JAN
130号

1

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団



もくじ CONTENTS

FEATURE

40代、だけじゃない生活。

- 2 地元でつながる。ジモトを遊ぶ。 笠縫ツナガリ隊
- 4 とことんママパパに寄り添う、まちのちっちゃな保育園

キッズルームたんぽぽ

- 6 まち語り 一枚の写真
- 7 ご近所まんが くさつがわ家とお隣さん ~これって、みんなの問題~
事業団からのお知らせ
- 8 熊谷栄三郎の徒然草津 第41回 言葉は飛来する
もじうめスッキリ
ボイス

ピザ窯

畑で獲れたて野菜を使ったピザを楽しみに、窯つくりに汗を流す若者たち。枝豆・ブロッコリー・白菜…と、の若者たちは畑仕事の達人たちに教えてもらいながら野菜と仲間の絆を育てています。「同じ窯?!の飯を食う」若者たち。熱々ピザが焼けるころはもっともっと大きな輪が生まれています。

(P2)

2022.JAN
130号
1

手袋が手放せない季節ですね。こんな寒い日に思い出す新見南吉の物語「手ぶくろを貰ひに」。子狐の冷たくなった手に令介が手袋を貰いに狐の親子が町まで行くお話。人間の手に変えた方でなく、うつかり狐の手を出してしまった子狐。それに気づいた帽子屋さんは……。ドキドキであったかい絵本、冬の夜にどうぞ。

地元でつながる。ジモトを遊ぶ。

笠縫ツナガリ隊（笠縫学区まちづくり協議会）

あなたは地元に“仲間”と呼べる人、どれくらいいますか。「職場と自宅を往復する毎日で、そんな人いないよなあ」「会えば挨拶ぐらいはするけれど…」そんな声が聞こえてきそうです。中には、幼なじみやママ友・パパ友と今でも仲良くやつててるなんて人もいるかも。

地元に仲間をつくり、一緒に“ジモト”での暮らしを楽しむ。なんとも愉快な話です。

**三反田美希さん
三反田悠さん
田崎理加さん
藤田健さん
松崎大祐さん**



さて、2022年の本誌は40代の取組みから元気スタート。日々の生活に、仕事に、と何かと忙しい人も多いこの世代。そんな中でも、自分の“まち”に目を向け、今から動き出す人たちも少なくありません。
同じ働き世代を支えたい人・互いにつながって大いに地元での暮らしを楽しむ人。
そんな「だけじゃない生活」に注目です。
40代が元気だと、まちは未来は明るい！

仕事に子育てにと何かと忙しい彼ら彼女らは、みな笠縫の住民。その気さくな雰囲気から、さぞや、まちづくり協議会の部会

ところがレンガをのこぎりで切る作業になると、ひと苦労。11月にしては暖かい日差しの中、代わるがわるノコを引いて汗が吹き出します。周りでは応援ともヤジともつかぬ声援で盛り上がります。

今日は下笠の“いつもの畑”でピザ窯づくり。といつても経験者なんていません。そこはやっぱりこの世代、スマホで動画を観ながら「ああだ、こうだ」とレンガを順調に積んでいきます。

やPTA活動などで知り合い、少しずつ繋がっていった間柄だと言つからびつくりです。

笠縫は市内でも比較的、高齢化が高い地域。まちづくり協議会ではまちづくりを見つけるプロジェクトを立ち上げようと、今のメンバーに声をかけたのだから。

肩ひじ張らずに

「次の担い手なんて言われる」と仕事も子育てもしている私たち世代にはプレッシャー。そんな肩ひじ張らず、まずは私たち世代がこのまちを楽しみ、色々な人がつながつていけば、自然と魅力的なまちになっていくのではないかとの考えに至ったのだとか。

それで「笠縫ツナガリ隊」なんですね。

ドローンも飛ばしてみた



のか。

みんなで色々なアイデアを出し合いました。地元の祭りの動画をつくろう、湖岸での出張力フェやマルシェ、ドローンを飛ばしてみては?など、楽しいプロジェクトが出る中、「まずはみんなで畑をつくるう」ということになつたのだとか。

「下笠には使われていない農地も結構あります。それに、私たちの世代には子どもたちと一緒に畑をやつてみたいという人も少なくないんですよね。できた野菜でバーベキューやピザづくりなんか、収穫後にも色々と楽しそうなこともできそ�で…」

「もう、地元のお父さん・お母さんという存在です。世代間に考え方の違いがあつて、言いたいことを言い合ふ時もあるけど、それも信頼関係があつてこそ。『できることはフォローするから、やりたいことをやつてみればいいよ。でも、新しい人も入りやすい雰囲気にしてあげてね』ってアドバイスしてくれます」

「ツナガリ隊に入り、このまちの魅力を改めて知りながら、楽しんでいます。畑をやつてみるのも、神輿を担いでみるのもいい。まちの風景や「コマ」に興味をもつて、実際に参加すれば、自分や家族を知つてくれる人がまちの中に増えます。そんな身内が増えることで安心できるまち、楽しく住みやすいまちになつていくんだと思います。だから、ツナガリ隊ではどんなことでも

チャレンジして、まちを楽しむ尽くしたい」「今は地域でつながる楽しみ方を知り、ワクワクしている。このワクワクが伝染していくばいですね」

ツナガリ隊には力強い味方がいます。それは活動を支えてくれ



地元のお父さん

ツナガリ隊には力強い味方がいます。それは活動を支えてくれ

ワクワクは
伝染する

はじめての畑では、大豆(枝豆)をはじめ、ブロッコリー・白菜・ほうれん草・サニーレタスなどを育てています。どの野菜もしっかりと立派に育ち、作った自分たち自身が驚いています。

このピザ窯で育てた野菜のピザを作りたい。味噌づくりにもチャレンジしたい。耕運機やトラクターの使い方も教わりたい…。ツナガリ隊の夢はこの畑からどんどん伸び放題。

「このまちの暮らしを思いっきり楽しんでいる姿を子どもたちにみせていいたい」

こんな笠縫ツナガリ隊のまちの楽しみ方、あなたのまちでもいかがですか。



笠縫ツナガリ隊



ピザ窯
つくつて
みたり



種をまいてみたり



収穫祭やりたい



とことんママパパに寄り添う、 まちのちっちゃな保育園。

キッズルームたんぽぽ 国松淳子さん

草津駅、東口近くにあるテナントビルの1フロア。ここに定員12名という“ちっちゃん保育園”があります。「キッズルームたんぽぽ」は働くママやパパたちの育児にとことん寄り添い、応援するユニークな保育園。

土日が忙しい商店さんも、学童の迎えに遅れそうなママさんも、在宅勤務でオンライン会議があるパパさんだって、あなたの子育てとお仕事を応援する強い味方です。



厳しくもやりがいを感じていた保育士生活。そんな矢先にこんなことがありました。仕事終わりで子どもを迎えに来たママからの相談でした。「次の土曜日に急用が入ってしまって、一日だけ預かってもらうことはできませんか」。ママと先輩保育士のやり取りが続きます。「ここは公立でお仕事の場合ないとお預かりできません」と

「一人ひとりの性格も個性も違うから、接し方だつて異なります。それに毎年、子どもたちが新しい入ってくるたびに、一から関係性をつくつていかなくてはいけません。もう必死でした」

から、「ごくごく自然な成り行きで資格を取ったのだが。20歳で公立の保育所に就職。いざ働いてみると、単に子ども好きというだけではできない仕事だと感じることも多かったそう。

育士を意識するようになってから、ごくごく自然な成り行きで資格を取ったのだが。20歳で公立の保育所に就職。いざ働いてみると、単に子ども好きというだけではできない仕事だと感じることも多かったそう。

「好き」なだけでは…

りでないんです」「どうしても無理ですか」「すみません。みてもらえるようなご家族は近くにいらっしゃいませんか」困り果てたママの顔が忘れられません。

生活は変わったのに…

子どもが好きで就いた仕事。これまで子どもたちだけを見つめていた彼女の眼に親御さんの姿が映るようになりました。

出産で仕事を続けたくても辞めざるをえない。「フルタイムで働けない。家事や育児を一人でこなす不安と孤独感……。ママたちのこんなつぶやきを耳にするたび「子育て中のママやパパの生活は昔と大きく変わっているのに、保育の現場がついていくてない」との思いが強くなりました。

はたらくママパパを応援！



1時間からお預かり
22:30まで保育延長も可能

急な当日保育だってOK

長期休暇専用 学童保育



月極預かり。1か月からOK



土日祝日も開園



ヘアサロン・ネイルサロン・
エステサロンとの連携



もがき苦しむ

突き上げる想いで開園にこぎつけたものの、利用者が一人も来ない日が続きました。手づくりのチラシを作つては周辺の住宅に配り回る毎日。マンショングでは管理人さんに追い返されたこともあつたとか。

そう、彼女は保育のプロではあっても、経営や集客に関してはなんにも分からなかつたのです。そんなものがき苦しんでいたころ、経営者の集まりがあると聞き、草津青年会議所に入りました。

肩の力を抜いて

「何をするにも体当たり」といふ彼女は会議所での活動にも積極的に取り組みました。

「会議所には、代々、会社を継ぐ経営者もいます。すべてが上手くいっている人たちだと思っていました。実は私と同じく経営に悩んでいることを知り、なんだか私も肩の力を抜くことができました。自身の経験も気軽に話してくれたりして、大いに力をもらいました。ここでの様々な出会いや経験が今の糧になっています」



国松淳子さん

「キッズルームたんぽぽ」は今年10周年。ママパパの現状に合わせてサービスが広がり、国松さんの着眼と行動を4名のスタッフが支えます。

「イヤな顔せず協力してくれるスタッフと、開園の決断を理解してくれた両親には感謝しかありません」と国松さん。

「定員たつた12人の小さな認可外保育園で、どれだけママたちの役に立てるのかって思うこともあります。お迎えに来たママの“子どもの顔を見て安心しました”という声を聞くたびに、これでよかつたんだと思っています」

この小さな安心を積み重ねながら、親御さんと子どもたちの未来を応援しています。

キッズルームたんぽぽ



第一号の園児

とはいものの、相変わらず園に子どもを預けにくる人はいません。貯金も底をつきかけ、焦る日々。そんな焦りと辛抱が3ヶ月も続いたころ、ついに第一号となる小さなお客様が。

預けに來てくれたのは幼なじみ。「ありがとうございます」。もう感謝の気持ちで一杯でした。それからは、一人また一人と園児が増えてきました。第一号の園児は小学生になつても遊びに来てくれ、今ではもう中学生です。

即座に1時間から利用できる出張保育サービスを始めました。仕事が遅くなり学童保育へのお迎えが行けなくなつたママがいれば代わりにお迎えに行き、そのまま預かるサービスもしているとか。

働く女性の一人として

「キッズルームたんぽぽは、仕事をしながら育てする若いママパパの気持ちに寄り添つ園でありたい」と国松さん。だから親御さんとの会話やSNSでのつぶやきには常にアンテナを張りまます。こうして、ママたちのちょっとした悩みを知るたびに、自分たちにできるサービスを増やします。

「核家族が増え、パパの育児もようやく耳にするようになりました。女性の社会的な活躍が増え、働き方はこれから益々、多様になるでしょう。仕事の時だけ子どもを預けるのではなく、育児で“しんどい、もう限界”と感じたときは、たとえ数時間でも子どもと離れる時間をつくって、リフレッシュしてもらいたい。私も同じ働く女性の一人として、ママたちの困りごとに寄り添うことで応援していくたい」と国松さん。

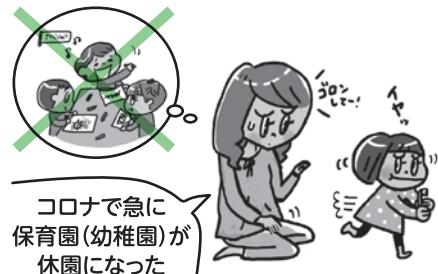


パパママ向けのセミナーや勉強会を開きたい

出張保育

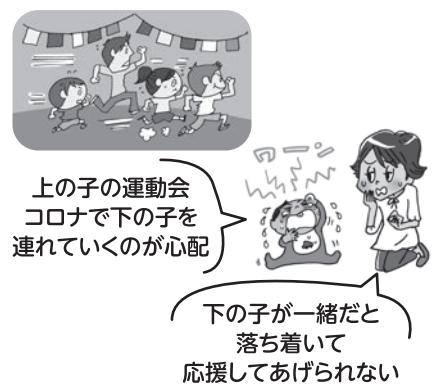


在宅ワーク。子どもがいるとオンライン会議に集中できない



コロナで急に保育園(幼稚園)が休園になった

一時預かり。キャンセル料は無料なので雨天順延でも安心



上の子の運動会コロナで下の子を連れていくのが心配

下の子が一緒だと落ち着いて応援してあげられない



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。
その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから」のコミュニティを見つめます。

国道1号 草津川トンネル

写真は昭和34年(1959)頃の市内をはしる国道1号の様子で、栗東方面から大津方面に向かって撮影されています。中央右寄りのバスがみえる十字路が、現在の大路3丁目の交差点。国道は4車線となっています。しかし、写真のように当時は道幅が狭く、舗装はアスファルトではなく目地のあるコンクリート。信号もないことから、現在とは全く違った景色であったことがわかります。また、左奥にみえるのは草津川トンネルで、天井川だった草津川がこの上を流れています。

写真ではまだ自動車の数が少ないですが、昭和30年代も後半になると、この辺りは一日約3万台もの交通量に。渋滞も発生し、その道幅の狭さからとても危険な状態となりました。そこで昭和37年(1962)、草津川トンネルから栗東町手原までの3.6kmを4車線化する拡幅工事が開始され、昭和42年(1967)には草津川トンネルも4車線化されました。これらにより、写真のトンネルの左側に第二草津川トンネルと、それに連なる道路2車線が新たに建設され、この写真からも更に景色は一変しました。



ロクハ荘

音楽ストレッチ

1月18日火

2月15日火

3月15日火

13:30~14:30

無料



●問合せ●

長寿の郷ロクハ荘

T 563-5021



まちづくり活動助成 成果発表会

イキイキ活動賞表彰式

同時開催

3月5日土 キラリ工草津

●問合せ●

(公財)草津市コミュニティ事業団 T 565-0477



株式会社 三井田商事

経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶します。

また、弊社は56周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長してきたいと考えております。

滋賀営業所／〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651



株式会社スマイ印刷
<https://sumaiprint.com>
〒520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2



ホームページ Instagram

SUMAI

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

スマイ印刷は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SUMAI SDGs

環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイ印刷は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。

「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。



ご近所まんが

くさつがわ家とお隣さん～これって、みんなの問題～
かれこれ40年の「ふれあいタウン」。
どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。
楽しくも少し考えてしまう。
もしかして…これって、みんなの問題かも。



あ～、いそがしい



さく・com-com / え・まんじゅう

草津クレアホール

第59回 草津市民文化祭

2/12土・13日

◆展示発表 9:30~16:30
◆芸能発表 10:00~16:00

入場無料(要整理券)
ロビーにて呈茶会



予告 クレア舞台芸術学校2021

第1部

クレアの一瞬

草津歌劇団オリジナルミュージカル

第2部

10周年記念パレード
ぼくのわたしの大好き草津

3/5土・6日

問合せ 草津アートセンター(草津クレアホール内) TEL 561-6100

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！

くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします



くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512

住所：草津市大路1丁目1-1 エルティ932 4F 406

電話がかかりにくい場合はこちらへ センターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455 (くらし何でも相談専用)

読売新聞



読売センター草津西／有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページ：[読売センター草津西](#)で検索！ または、今すぐ右のQRコードにアクセス！



2022.JAN
130号

発行・編集
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号(キラリ工草津)
TEL 077-565-0477 FAX 077-565-0411
□ com-com@mx.biwa.ne.jp HP http://kusatsu.or.jp



管理施設
ロクハ公園(草津市公園事務所) TEL 564-3838
草津クレアホール TEL 564-5815 / 草津アミカホール TEL 561-2345
長寿の郷ロクハ荘 TEL 563-5021

[選題] 中村 明雄

[印刷] 株式会社スマイ印刷



言葉って不思議なもの、とつくづく思う。だいたい、言葉がなれば、どんなことも考えることができないのではない。モノを考えるとき、我々は言葉を組み立てている。ふさわしい言葉を思いつかないと、もひららしい新語をつくるたりもする。

言葉を必要としないと思われている絵画であろうと音楽であろうと、それを解釈したり説明したりするときなどには言葉に頼るしかないのである。たとえば新しい首相を迎えた最近私は独り言を言つては喜んでいた。「私の特技は、人の酒をよく飲むことである」と。

これは新首相が就任早々のテレビや新聞の会見のとき、口癖のように言つていた「私の特技は人の話をよく聞くことです」という言葉を、ほとんど無意識に借用したものだ。「話

加えて、その言葉にも面白い性格が備わっていることに気がつく。

たとえば新しい首相を迎えた最近私は独り言を言つては喜んでいた。「私の特技は、人の酒をよく飲むことである」と。

これは新首相が就任早々のテレビや新聞の会見のとき、口癖のように言つていた「私の特技は人の話をよく聞くことです」という言葉を、ほとんど無意識に借用したものだ。「話

くづく思う。だいたい、言葉がなれば、どんなことも考えることができないのではない。モノを考えるとき、我々は言葉を組み立てている。ふさわしい言葉を思いつかないと、もひららしい新語をつくるたりもする。

言葉を必要としないと思われている絵画であろうと音楽であろうと、それを解釈したり説明したりするときなどには言葉に頼るしかないのである。たとえば新しい首相を迎えた最近私は独り言を言つては喜んでいた。「私の特技は、人の酒をよく飲むことである」と。

これは新首相が就任早々のテレビや新聞の会見のとき、口癖のように言つていた「私の特技は人の話をよく聞くことです」という言葉を、ほとんど無意識に借用したものだ。「話

熊谷栄三郎の
徒然草津
つれづれくさつ

言葉は飛来する

熊谷 栄三郎



第41回

が「酒」、「聞く」が「飲む」という言葉に代わって、私の口から出きたのだ。もちろん私が酒好きであるからこそ、こういう展開になつたのは、確かにである。

このように言葉は人から人へ、あるいはモノからモノへといふようにつねに世の中を飛来している。その途中でこころと語形を変えることもある。

「言葉は飛来し、常に変身する」、そう私は思い至つている。最後に、トイレの話。たいていは大きな建物の中。男性用の立派な小用器のてっ�ん付近に貼り紙がある。「人がいないときも、定期的に水が流れます。排水管の通りをよくするため」などである。

なるほど、上部の小さな排水管からときどきチャラチャラと清水が出てくる。と、私の悪癖で貼り紙の「水」と「人」を入れ代わっていて、そこからは「水」ではなく「人」がチャラ…。

応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

〆切 1月31日(月)必着

宛先 〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号(キラリ工草津)
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ1月号」係
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 565-0411



プレゼント

応募いただいた中から抽選で、niwa+(ニワタス)内の次の5店舗で利用できる優待券(1,000円相当)を5名様にプレゼント

- ・ブーランジュリーシス
- ・叶匠寿庵
- ・カフェトリ
- ・ミソラテラスイタリー
- ・ア.デペシュ



節分といえば? □に入る5文字を答えてね。

(1) 鬼に投げて追い払う
ま□まき

(2) 節分の日には、あちらこちらで。
お□は外！ 福は内！

(3) 無言で食べます
□ ほうまき

(4) 魔除けとして門口に挿すもの
ひいら□いわし

(5) 自分の年齢に一つ加えた数を食べよう
と□とりまめ

ボイス

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

クレアホール

これってうちだけ? わが家のルール

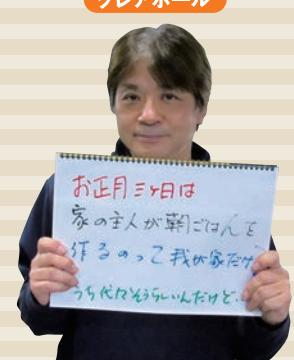
キラリ工草津



ロクハ荘



ロクハ公園

コミュニティ
くさつ

「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかなっています。